

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	石巻市立雄勝小学校
授業者	今野那菜（1年担任）阿部秀憲（2年担任）齋藤卓弥（2年特支学級担任） 早坂峻（3・4年担任）齋藤咲花（5・6年担任）

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

海を知る「たっぷり調べよう」

#### 1-2. 学年

全学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活・理科・総合的な学習・体育

#### 1-4. 単元の概要

- ・海の観察……学校から見える海の様子を日常的に観察することで、季節の移り変わりや天候による変化に関心をもつ。【生活・理科】  
学校前浜や学区内の海岸を観察し、発見や感想を文章にまとめる。【生活・総合】
- ・雄勝の漁業……定置網や養殖筏の見学を通して、暮らしと海に関連について学び、海の豊かさについて考える。【生活・総合・社会】  
漁業、硯産業など、人々の暮らしを支える産業について学区内を巡って調べ、考える。  
【総合・社会】

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、旧雄勝町全域（雄勝半島全域）が学区であり、震災による被害が非常に大きかった地域である。徐々に復旧が進んでおり、学校前に砂浜が、近隣や学区内の各所には漁港や防潮堤が整備されている。養殖漁業や沿岸漁業も活気を取り戻しつつあり、多くの人々が子供たちに「ふるさとを愛する心情をもってほしい」と願っている。身近な海をフィールドにした体験活動と探究活動を通して、主体的で深い学びへと導くとともに、ふるさとを愛する心情を育てていきたいと考えている。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海をフィールドにした体験活動を、継続的に実施することで、様々な問いや疑問が生まれ、探求的で深い学びへと発展すると期待できる。
- ・ふるさと雄勝の魅力やよさを実感することで、雄勝を誇りに思う気持ちが少しずつ育まれ、ふるさとを愛する心情の育成が期待できる。
- ・身近な海を見る多様な視点や感じる心情を育てていくことで、行動しようとする意欲が高まり、海との関りの中で自分にできることを考えようとする心情が育まれると期待できる。

1-7. 単元の展開（全14時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
時数なし	海の観察	【活動時期 通年】
	<p>◇学校から見える海の様子を日常的に観察することで、季節や天候による海の変化に関心をもつ。</p> <p>①海の様子を観察する。</p> <p>②観察で気付いたことや疑問に思ったことなどを友達と話し合う。</p> <p>③関心をもったことを各自調べる。</p>	<p><b>準備</b> 双眼鏡など</p> <p><b>指導</b> 観察している子どものつぶやきをとらえ、全体へと広め、関心をもたせる。</p> <p><b>評価</b> 学校から見える海の様子を日常的に観察することで、季節や天候による海の変化に関心をもつことができたか。</p>
4	雄勝の漁業	【活動時期 4月】
	<p>◇学区内の道の駅を訪問し、盛んな産業について調べる。</p> <p>①伝統産業会館を見学し、硯産業が盛んなことを知る。</p> <p>②特産品の販売所を見学し、水産業が盛んなことを知る。</p> <p>③ホタテの貝殻への絵付けを行い、海に親しむ気持ちをもつ。</p> <p>④初めて知ったことや興味をもったことを感想等にまとめる。</p>	<p><b>準備</b> 筆記用具、記録用紙、探検バッグ、救急セット</p> <p><b>外部</b> 地区の方々、伝統産業会館職員、道の駅職員</p> <p><b>指導</b> 活動前に地区の方やお世話になる職員の方々に趣旨を説明し、活動への協力を呼び掛ける。また、公共施設の利用マナーを事前に指導する。縦割り班に分かれて活動する際には、班ごとの担当教員を決め、安全に活動できるようにする。</p> <p><b>評価</b> 地区を巡り、海の様子や人々の暮らし、漁業や産業の特徴などについて調べることができたか。気付いたことや分かったことを、文章や絵にまとめることができた。</p>
5	雄勝の漁業～大浜・立浜地区～	【活動時期 6月】
	<p>◇学区内の各地区の海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴などを知る。</p> <p>①大浜・立浜地区の方から、ギンザケとホタテの養殖について話を聞く。</p> <p>②乗船し、養殖施設並びに養殖されているギンザケとホタテを見学する。</p> <p>③学習の振り返りを行い、まとめのレポートやお礼の手紙を書く。</p>	<p><b>準備</b> ライフジャケット、飲料水、タオル、軍手、救急セット</p> <p><b>外部</b> 地区の方々</p> <p><b>指導</b> 活動前に地区の方々と活動内容について打ち合わせを行い、養殖業について学習が行われるよう協力を呼び掛ける。乗船しての体験活動になることから、ライフジャケットの着用など安全面に関する配慮を確実に行う。</p> <p><b>評価</b> 地区を巡り、海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴について調べることができたか。気付いたことや分かったことを、文章や絵にまとめることができた。</p>

5	雄勝の漁業～名振地区～	【活動時期 7月】
	<p>◇学区内を巡り、各地区の海の様子や人々のくらし、漁業の特徴などについて調べる。</p> <p>◇気付いた変化を文章にまとめ、記録する。</p> <p>① 昨年の体験を振り返り、やってみたいことや調べてみたいことを話し合う。</p> <p>② 名振浜で地区の方からお話を聞く。</p> <p>③ 名振浜を散策する。石の形、化石、シーグラスなど、学校前浜と比較しながら採集活動する。</p> <p>④ 係留している船や漁港にある物品を見学し、名振漁港の特徴について調べる。</p> <p>⑤ 地区のお寺を訪問し、地区の歴史や人々の願いについてお話を聞く。</p> <p>⑥ 学習したことを文章や絵にまとめる。</p>	<p><b>準備</b> 筆記用具、記録用紙、救急セット</p> <p><b>外部</b> 地区の方々</p> <p><b>指導</b> 活動前に地区の方へ活動の趣旨を説明し、活動への助言や協力を呼び掛ける。また、見学させていただいた方やお話を伺った方へ感謝の気持ちを伝えるよう事前指導を行う。</p> <p>縦割り班に分かれる際は、班ごとの担当教員を決め、安全に活動できるようにする。</p> <p><b>評価</b> 地区を巡り、海の様子や人々のくらし、漁業の特徴などについて調べることができたか。気付いたことや分かったことを文章や絵にまとめることができたか。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 14 時間中の 6～8 時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

### 2-2. 本時の目標

- ・ギンザケとホタテの養殖施設を見学し、雄勝の漁業への興味関心を高めるとともに、理解を深める。
- ・養殖施設を見学し、大きく育つ魚や貝を見て、海の豊かさについて考える。
- ・多くの人々の仕事によって、食卓に美味しい海産物が届くことを知り、漁業に従事する方々への尊敬や感謝の気持ちを育てる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 オリエンテーションを行い、学習のねらいを知り、安全に活動するための約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさんが好きなサーモンやホタテは、どんな風に育てられているか知っていますか。 サーモンは回転ずしで食べるよ。 ホタテも大好き。 ホタテはつなげられて育てられているよ。</li> <li>・船に乗って、育てている様子を見学します。</li> <li>・地域の方が、皆さんに雄勝の漁業について知ってほしいと協力してくれます。 船に乗るの楽しみだな。 ぼく、船に乗ったことがあるよ。 わたしは初めて乗るよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフジャケット、軍手、長靴を着用し、けがのないようにする。 道路の横断など、行き帰りの交通安全に気を付ける。</li> <li>・船の上では、地域の方や先生の指示に従う。 など、安全上の約束を確認する。</li> </ul> </div> <p>2 地域の方々に挨拶し、お話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗船して学習する内容を地域の方に話してもらおう。乗船時の注意事項や体調不良時の対応についても話してもらおう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な魚介類が、人々の仕事により食卓に届いていることについて考えるきっかけを与える。</li> <li>・地域の方々の「雄勝の子供たちに、雄勝のことを知ってほしい」という願いを伝え、真剣に安全に学習に取り組むことができるように促す。</li> <li>・事前に保護者から乗船の承諾を得ているが、不安を感じている児童がいる場合には、教師が寄り添い、安心して学習ができるようにする。</li> <li>・桜マークのライフジャケット、軍手、長靴の着用など、暑い中での活動ではあるが、乗船等の危険な場面では着用を徹底する。</li> <li>・一人一人に水筒を持参させる。また、教師側で予備の水分や氷を準備し、熱中症対策を行う。</li> </ul> <p>・地域の方の話の中で、専門用語や難しい言葉が出てきた場合には、子供たちが理解できるように低学年に合わせて補足する。</p>

- ・出港までの間に、トイレに行く時間を設ける。
- ・グループに分かれて2艘の船に乗船する。

### 3 出港し、養殖施設を見学する。

#### (1) ギンザケの養殖施設を見学する。

- ・ギンザケ養殖がどのように行われているか、見学しながら話を聞く。
- ・ギンザケに餌をやる体験をする。
- ・ギンザケの水揚げ体験をし、育ったギンザケを抱えてみる。

中にいっぱい魚がいるよ。  
機械で餌をやるんだ。すごい。  
大きいな。持てないよ。すごく重い。

#### (2) ホタテの養殖施設を見学する。

- ・わずか1mm程度の稚貝から、10cm以上に育つことを知る。
- ・ホタテを揚げてもらい、大きく育ったホタテを見る。
- ・ホタテの稚貝を雄勝で育てる取組について説明を聞く。また、稚貝の多くは他県から仕入れて雄勝湾で大きく育てていることを知る。

小さすぎてよく見えないな。  
あっ、見えたよ。  
ホタテの貝はすごく大きいね。  
こんな風に育てられているんだ。

### 4 雄勝湾を船で巡り、海から雄勝の様子を見る。

- ・海から雄勝を見ることで、湾が陸に囲まれていることを知り、波が穏やかな秘密や養殖に適した場所であることについて理解を深める。
- ・ホタテやギンザケのほかにも、ワカメの養殖や定置網による漁業が行われていることを知る。
- ・地区ごとに利用できる場所が割り振りされていることを知り、約束を守って協力して漁業を行っていることを知る。

雄勝小学校が見えるよ。  
海水や風が気持ちいいなあ。  
いっぱい玉が浮いているんだね。  
どっちを見ても山が見えるよ。  
ぼくの家はあっちの方だよ。

- ・教師は、子供たちのつぶやきや気付きをアナウンスし、気付きが広がったり深まったりするように努める。
- ・不思議に思ったことは、質問してみるように、疑問が浮かんだ子供に助言する。

- ・ギンザケを抱える体験など、安全に実施できるように補助する。



- ・ルーペを準備し、稚貝が見えないと言う子供でも見られるように支援する。
- ・気付きをアナウンスしたり、質問を促したりして学習が深まるように配慮する。
- ・漁業を学習した高学年の子供たちには、社会科の学習を想起させる。



- ・雄勝小学校や雄勝保育所など、知っている施設を見つけた子供たちを褒め、さらなる気付きを促す。
- ・多くの人々が海を利用して、生活していることに気付くことができるように、子供たちの気付きを聞きながら気付きを補足する。
- ・子供たちが雄勝の自然環境のすばらしさを感じることができるように、子供たちのつぶやきを拾う。

<p>5 港に戻り、振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を守り、大人の手伝いをもらいながら安全に下船する。</li> <li>・体験の中で、水揚げされた魚を観察する。</li> <li>・整列し、感想発表をしたり、地域の方のお話を聞いたりする。</li> <li>・お礼の挨拶をする。 ギンザケはやっぱり大きいなあ。 魚がいっぱい入った網を見せてもらったよ。カレイやヒラメがいっぱい入っていたよ。 おもしろかった。また行きたいな。 ありがとうございました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に活動を終わることができるように、地域の方と協力しながら、下船をサポートする。</li> <li>・よい気付きがあった児童に意図的に感想発表させ、学習が深まるように配慮する。</li> <li>・教師が気付いた雄勝の海のよさについて話をし、今後の海をテーマにした活動への意欲を高める。</li> </ul>
<p>6 学校に戻り、振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフジャケット等、使用したものの片付けを行う。</li> <li>・感想や学習したことを記録する。</li> <li>・見学をお世話してくれた地域の方にお礼の手紙を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想やお礼の手紙を書き、学習を振り返るとともに、学級通信等で家庭にも今回の学習の様子を伝え、今後も地域や家庭からの協力が得られるようにする。</li> </ul> <p>※気付いたことや分かったことを絵や文章にまとめることができたか（記述）</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々の協力を得て、乗船しての漁業施設見学や水揚げの体験ができたことは、子供たちにとって貴重な経験となりよかった。</li> <li>・地域の方の好意により、定置網の水揚げ体験、湾内巡りを実施していただいた。船に乗るのが初めてという児童も少なくなかったため、雄勝地域のよさを見つけるよい機会となった。</li> <li>・家族が漁業に従事している児童とそうでない児童では、経験や知識に大きな差があり、雄勝地域の産業について興味関心を高め、理解を深めることができた。</li> <li>・6月下旬にしたのだが、当日はひじょうに天気がよく、気温が高くなった。予定どおり計画を実施することができ、体調不良の児童も出なくてよかったが、時期については検討する必要がある。</li> </ul>
---

### 4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、ギンザケとホタテについて学習を行った。学校運営協議会等で、学習内容について地域の方から意見をもらい、次年度は〇〇、その次の年は〇〇と、雄勝の漁業について数年で網羅できるようになるとよい。</li> <li>・今年度は暑い時期の実施となり、児童の体調面の心配が大きかった。また、漁業を見学するのに適した時期とは言えなかった。時期について検討し、学校行事との調整を図っていきたい。</li> </ul>
---

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、利用した漁港は、低学年児童でも学校から徒歩で移動できる範囲にあることから、移動については時間を設定していない。また、交通機関も利用していない。</li> </ul>
---